

清らかな源流の里  
**県南農林だより**  
第4号



ふくはる香(棚倉町産)

**農林業関係の動き**

■平成26年度「しらかわ・地域産業6次化ネットワーク」第2回交流会を開催



管内で開発された6次化商品

2月24日(火)、多数の方々に参加いただき、地域産業6次化ネットワーク交流会を開催しました。

交流会の第1部では、香川県の農業生産法人(有)コスモファームの中村敏樹社長から商品開発や販路開拓の事例をご講演いただきました。

続いて、農林事務所の委託による特産品開発支援の取組を紹介し、(有)肉の秋元本店(白河市大信)の「トマト豚まん」や北條農園(白河市東)の「しあわせりんごケーキ」の開発経緯やポイント等について報告しました。第2部では、6次化に取り組む事業者の商品を展示、試食をとおして農商工業者相互の交流を深めました。

(企画部)

**目次**

**農林業関係の動き**

- ◇しらかわ・地域産業6次化ネットワーク交流会
- ◇飼料用米の多収栽培推進
- ◇林業労働力確保に向けた意見交換会
- ◇田んぼの学校は塙小学校！

**コラム**

- ◇チェンソー伐木の極意
- ◇農業施設の紹介「犬神ダム」
- ◇給食等における地産地消

**農林関係事業**

- ◇平成27年度の主な農林関係事業の紹介

■JA農業セミナーで飼料用米の多収栽培を推進！



飼料用米の多収栽培についての説明

飼料用米の取組を推進するため、JA東西しらかわ農業セミナーにおいて、農林事務所から飼料用米の多収栽培について講話しました。

セミナーは、1月と2月に計5回、3カ所で開催され、生産者119名の方が参加されました。

水田活用の直接支払交付金における飼料用米助成を有効に活用するには、収量を高める必要があるため、多収栽培のポイントとなる肥培管理等について、多くの質問が寄せられました。

県南地方の26年産飼料用米の生産は、約173haで取り組みましたが、今後、単収の向上と大幅な面積拡大を目指し、推進していきます。(農業振興普及部)

## ■「ふくしま森林再生事業における労働力確保に向けた意見交換会」を開催！



意見交換会の様子

ふくしま森林再生事業は、震災以降停滞している森林整備を放射性物質対策と一体的に進めるため、平成25年度から取り組んでいます。森林整備事業の本格化に伴い、労働力不足が大きな課題となっています。

このため、2月9日(月)、森林管理署、市町村、林業事業者等関係者を集め、これまでの取組や事業実施スケジュールに関する情報交換と林業事業者の労働力確保に向けた意見交換を行いました。

参加者からは、事業の早期発注や実施計画の詳細な情報提示、林業事業者の役割分担の可能性などについて多くの意見が出されました。今後も積極的に関係者間で情報共有を図っていきます。(森林林業部)

## ■平成27年度の「田んぼの学校」は、埴小学校で開校！！

「田んぼの学校」は、田んぼや水路、里山などを「遊びと学びの場」として、米作りや田んぼの生きもの調査を行い、農業や農村環境について、感性豊かな子ども達に理解を深めてもらうことを目的に開校する学校で、平成27年度は埴小学校で開校されます。

第一回目の活動は5月に5年生48名を対象に、開校式及び田植えを実施する予定です。(農村整備部)

## コラム

### ■チェーンソー伐木の極意を伝授！

1月21日(水)、22日(木)、チェーンソー伐木の理論と技術を習得のため、平成26年度地区別研修会(林業機械)を開催し、林業従事者など25名が参加しました。

講師の青森県国有林材生産協同組合参事の小田桐久一郎氏は延べ1万人以上の受講者を林業の現場へ送り出してきた方です。

初日は埴町の民有林で、チェーンソー伐木の実践を研修し、北欧の技術を取り入れた安全な伐木方法を学びました。

2日目は、伐木の極意と目立ての実技について、小田桐氏の長年の努力と経験で培われた技術と知識を余すことなく教えていただき、大変有意義な研修となりました。

その中で最も印象に残った三つの極意をご紹介します。



講師の小田桐久一郎氏

①木は伐るのではなく折るもの

②伐木は、対象木・山の斜面・周囲の木等をじっくり観察し、木からのメッセージを読みとることが大事

③木は芯が一番強い。目では見えないが、芯がどこにあるかを見極めること

森林整備と労働安全衛生の推進には、現場で活躍する林業技術者の技術向上が大変重要ですので、今後もこのような機会を設け、技術向上の支援に努めていきます。(森林林業部)

## ■県南地方の農業施設の紹介【第1回】 「犬神ダム」



【犬神ダム】

工事費491,888千円、工期:昭和39年～昭和46年、堤長128.76m、堤高32.35m、貯水量1,200,000m<sup>3</sup>\*、最大取水量1.814m<sup>3</sup>/s

※東京ドーム1杯分の水を貯められます。

「犬神ダム」は白河市表郷金山字犬神に位置し、白河市、東白川郡棚倉町、石川郡浅川町の農地1,193haを潤す農業用ダムです。

本ダムが出来るまでは、阿武隈川の支流「社川」と社川支流「藤の川」より水を引いていましたが、いずれも水量が乏しく、補助水源として南湖を始めとした25ヶ所のため池や、地下水、湧水を利用してようやく必要な水量を確保していました。

このため、本地域の用水確保は古来より極めて深刻な問題で、引水、番水をめぐって水争いに明け暮れている状況でした。

このような水源の水量不足を解消するために犬神ダムを築造し、現在では安定的に用水を供給できるようになり、水争いもなくなりました。(農村整備部)

## ■学校給食や社内食堂における地産地消の取組

県では、学校や社員食堂において県産食材を補助する事業の実施等、地産地消の推進や県産農林水産物の風評払拭に取り組んでいます。

平成26年度は、多くの学校や企業において補助事業に取り組んでいただきましたので、その事例を紹介します。

### 【学校給食おいしい県産農林水産物活用事業】

○取組校数:小学校6校、中学校3校、給食センター等(小学校20校、中学校12校)

取組割合は、小学校は43校中26校(60%)、中学校は18校中15校(83%)でした。

○主な食材:果物(ナシ、ブドウ、リンゴ)、野菜(イチゴ、ミツバ、レタス)、穀類(ハトムギ)、肉類(牛肉、豚肉、鶏肉)、魚介類(サンマ、ユキマス)、加工品(鶏つくね、納豆、ブルーベリーアイス)等

特徴的な取組として、地元特産のハトムギ(泉崎村)、洗わずに食べられる植物工場のレタスなどがあげられます。

### 【社内給食利用促進事業】

○取組会社:㈱DNPテクノパック泉崎工場、ティエフォー(株)福島工場、ユニ・チャームプロダクツ(株)福島工場、味の素製薬(株)福島事業所

○主な食材:果物(リンゴ)、野菜(トマト、ナス、キュウリ、ピーマン) 穀類(米)、肉類(牛肉、エゴマ豚、伊達鶏)、加工品(白河高原清流豚カレー、酒ゼリー)等

普段、給食や社員食堂では利用されていない県産食材を利用したメニューは、児童、生徒、社員の皆様に大変好評でした。

今後とも、県産農林水産物や加工品が一層活用されるよう推進活動を展開してまいります。(企画部)



複数校で提供されたすきやき風煮(右下)  
(写真:矢吹中学校)



社員食堂のテーブルでPRしていただきました。(写真:味の素製薬(株))

## 平成27年度の主な農林関係事業

平成27年度の県当初予算要求は1,899億円、うち農林水産部は113億円となっており、ここではその一部を紹介します。

### ・東日本大震災畜産振興対策事業

畜産の早期復旧・復興のため、生産力回復に資する施設整備や家畜導入、自給飼料生産組織の高度化に必要な機械の導入等を支援します。

### ・チャレンジふくしま水田フル活用緊急対策事業【新規】

水田のフル活用推進のため、飼料用米の生産から利用までのシステム構築や稲作から園芸作物への経営転換に必要な機械、資材の導入等を支援します。

### ・プロフェッショナル経営体創出事業

高度な経営を目指す農業者や法人等が、制度資金の融資を受け、計画に基づき行う規模拡大等の取組を支援します。

### ・青年就農給付金事業

若い世代の農業への参入を促すため、就農前(2年以内)の研修期間及び経営が不安定な就農直後(5年以内)に給付金を交付し、就農を支援します。

### ・鳥獣被害防止広域対策緊急推進事業(鳥獣被害対策強化事業)【新規】

概ね郡単位をエリアとして、県が委託する専門家による濃密な支援により、市町村と関係団体が参画する広域的な協議会組織の起ち上げを促進し、広域被害防止計画策定等の支援指導を行います。

### ・ふくしまの恵みPR支援事業(チャレンジふくしま農林水産物販売力強化事業)

市町村、民間団体による風評を払拭するためのPR活動を支援します。

### ・地域産業6次化復興支援事業(地域産業6次化戦略推進事業)

農林漁業者等が6次化の事業展開を図るため、新商品の開発や施設整備等の取組を支援します。

### ・多面的機能支払事業

農業、農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るため、農業者等が行う基礎的な保全活動や地域資源の質的向上を図る共同活動に対して支援するとともに、担い手の育成等構造改革を後押しします。

### ・安全なきのこ原木等供給支援事業

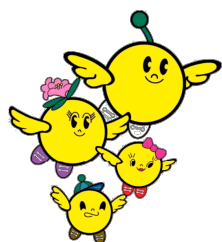
きのこ生産者の生産資材導入に係る負担軽減を図る取組を行う団体に対し、経費の一部を補助します。

### ・森林整備加速化・林業再生交付金事業【新規】

地域の創意工夫を生かして、木材需要の拡大と安定的、効率的な地域材の生産、供給体制を構築するとともに、持続的な林業経営確立のため、総合的な支援を緊急に実施します。

### ・農業短期大学校革新緊急対策事業【新規】

学生自らが通年栽培や飼養管理を行う責任分担管理体制や地域産業6次化を見据えた加工、販売等の実践教育を導入し、強い営農意欲と経営感覚を身につけた卒業生の輩出と就農率の向上を図ります。



農林業に関する相談などお気軽に御連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 :961-0971

住所:福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話:0248-23-1577



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成27年3月23日発行